

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (令和4年度実績)

提出区分	実績	整理番号	1	課題区分	C
横断的な課題	清らかな水と高い晴天率を誇る佐久地域の豊かな資源を活かしたゼロカーボンの推進				
地域重点政策	清らかな水と高い晴天率を誇る佐久地域の豊かな資源を活かしたゼロカーボンの推進				
実施機関	佐久地域振興局			担当課	所属 環境・廃棄物対策課/林務課
事業名	佐久ゼロカーボンエリア(地域循環共生圏)創出に向けた体制整備・普及啓発事業			電話	0267-63-3166/0267-63-3152
				E-mail	sakuchi-kankyo@pref.nagano.lg.jp
					sakuchi-rimmu@pref.nagano.lg.jp
事業の概要等	目的(目指す姿)	再生可能エネルギーの地産地消やゼロエネルギー建築等を推進するとともに、CO2吸収源である森林の持続可能な整備を進め、地域循環共生圏を創出する。			
	現状と課題	「長野県ゼロカーボン戦略」(R3.6策定)において、各地域がそれぞれの資源を最大限活用しながら自立・分散型社会を形成し、地域の特性に応じて資源を補完し支え合う「地域循環共生圏」の創出を大きな柱として掲げている。 佐久地域のゼロカーボンの取り組みは、個々での取組が主体となっており、地域内での循環のためには、市町村や事業者等との地域全体での連携が課題である。 また、CO2吸収源となっている当地域のカラマツ林は、主伐期を迎えているが、合板、土木用材が大半を占め、佐久カラマツの品質を活かし高付加価値が見込める建築材等への利用は進んでいない。 消費者等の認知度を高め、持続可能な森林整備をすすめるためには、佐久カラマツの需要の拡大や高付加価値を図るとともに、再造林の促進及び担い手確保・育成が必要となっている。			
	内容(変更後の内容)	(1) ゼロカーボンエリア(地域循環共生圏)創出に向けた体制整備 県内外でのエネルギー関連分野における地域内経済循環の先進事例やエネルギーの地域資源を活用した先進事例等について、専門家を招いた勉強会を開催する。 また、家庭部門で大きなエネルギー消費を占める建物のZEH・断熱化に向けた地域プラットフォーム(推進の仕組みづくり)の検討を行う。 (2) 持続可能な佐久カラマツ林整備のための「学び」の推進 佐久の特徴であり、CO2吸収源となっているカラマツ林について、建築材等としての利用促進を図り、持続可能な森林整備が進むよう、林業体験や森林・環境教育による「学び」を推進する。 ・高校生向け林業体験会について、コロナ感染症の状況を勘案し中止とした。 ・小学生等への森林・環境教育			
	事業期間	令和4年4月 ~ 令和5年3月			
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	ゼロカーボンエリア(地域循環共生圏)創出に向けた体制整備	勉強会等 年5回	223,644		
	持続可能な佐久カラマツ林整備のための「学び」の推進	小学生等への森林・環境教育 年10回	0		
合計		223,644			
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	勉強会の開催(回)		4	5	○ 達成
	勉強会参加団体・企業数(延べ団体)		80	80	● 一部達成
	高校生等職場体験参加者数(人)		25	0	○ 未達成
	小学生等への森林・環境教育の実施、支援回数(回)		10	11	
事業実績・成果	【実績】 ・ゼロカーボン勉強会を開催(8/5) ・小諸市、軽井沢町職員研修会開催(小諸市8/3、軽井沢町7/15) ・健康ゼロエネ住宅、断熱化推進のための有識者ヒアリング実施 ・岩村田高校断熱化ワークショップ事前学習会(11/18)・ワークショップ開催(1/28) ・高校生林業職場体験、森林フォーラムは新型コロナウイルス感染症再拡大のため中止 ・小学生等への森林・環境教育(林業の現場見学等)				
	【成果】 ・勉強会開催により事業者等が地域内経済循環の先進事例を学び、研修会開催により市町村職員が「長野県ゼロカーボン戦略」の理解を深めることで、地域循環共生圏創出に向け、地域の市町村職員と事業者等の理解を深めるとともに連携を図ることができた。 ・断熱化ワークショップ開催により、実際に断熱化の作業を体験し、断熱効果を体感するとともに、指導者の育成を図ることができ、断熱化推進によるゼロカーボン推進の仕組みづくりの手法を確立することができた。 ・小学生等に生業としての林業を意識付けすることができた。				
今後の方向性	引き続き、ゼロカーボンライフスタイル普及事業(地域振興推進費事業)などにより、ゼロカーボンの推進を図る。				